



ナイス福岡 会報

くすのき

2022年8月
第 325 号



- 赤い小花は夏らしさ真っ盛りですが、8月中旬ともなると、
どことなく秋を感じられる草花が姿を見せ始め、少しほっとします。aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL：090-8220-6160
URL：<http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL：<http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（130回）

日時 8月20日（土）10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160【田村の携帯】

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

9月18日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

8月はお休みです。

8月13日（土）9月10日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

8月28日（日）9月25日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間：8:00～11:00（8月まで夏時間）
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

9月11日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8月はお休みです。

9月4日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

9月6日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

8月はお休み、再開は9月です。

福岡植物友の会

問合せ：佃 昇（092-662-2983）

久留米の自然を守る会

10月16日（日）
ネイチャーゲームの会と久留米の
自然を守る会の合同
時 間：9:30～
集 合：森林公園駐車場
問合せ：（0942-43-7959）河内俊英
ふるってご参加ください

コナラのタマバチの虫こぶ
ナラハウマルタマフシ 三国 松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

9月3日（土）
集 合：九州歴史資料館
第1駐車場
時 間：9:30～12:00
（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きものの情報を載せて
います

スズメの巣立ちピナ 三国・松永

和白干潟を守る会

8月27日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8月27（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

オオゾウムシ 三国・松永

2022年7月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、7月1日(旧暦6月3日)~7月31日(旧暦7月3日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



7月3日(旧暦6月5日) 佐賀県みやき町千栗土居公園
筑後川の洪水に悩んだ土地柄。12Kmの土居を築いた。
千栗土居(ちりくどい)である。今は土居の内側に、大賀蓮
(左)、舞妃蓮(右)が美しい。ただこの土居のせいで、久
留米藩は水害が増えたとか。アオビタイトンボがいた。



7月8日(旧暦6月10日) 筑紫野市天拝坂
池に通じかかると、岸边が急に騒がしい。ハシブトガラス
の威嚇声に対しカイツブリの夫婦が羽を少し膨らませなが
ら無言でカラスに迫っている。やがてカラスがあきらめた
ように飛び去った。カイツブリは近くに営巣の準備中。



7月17日(旧暦6月19日) 筑紫野市天拝公園池上池
カイツブリが何かを食べようとしていた。時々バシャバシャ
していたので、まだ生きていたのか。腹部の先っぽに黄斑
のある大きな突起から、ウチワヤンマのような。俊敏そう
なヤンマをどうやって捕ったのだろう。



7月22日(旧暦6月24日) 筑紫野市天拝坂
庭にアゲハがやって来た。どうやら卵を産んでいる様子。
最近の庭では、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲ
ハを観たが、一向に幼虫が居る気配がない。なぜだろう。
強力な天敵がいるのだろうか。寄生か捕食か。厳しそう。



7月26日(旧暦6月28日) 富山県中新川郡立山町弥陀ヶ原
立山で餓鬼田と呼ばれる高層湿原(池塘)に自生する、
カオジロトンボのみ。木道沿いによく見かけた。背中の中
の毒々しさと顔の白さが、池塘を餓鬼田と呼ぶ謂れか？



7月27日(旧暦6月29日) 富山県黒部市宇奈月樺平
人喰岩で吸水する夏型のサカハチチョウである。アカソ、
イラクサが幼虫の食草だが、近年シカの食害で本種は数
を減らしているという。ずいぶん前に若杉山で観たなあ。

会員からの投稿(1) 糸島のネコ

「ベランダの Bee Hotel」

自宅のベランダには、ハナバチの研究をしている主人が観察用に作成した“Bee Hotel”が、2年前から設置してあります。春になると、そのBee Hotel から少しずつ生きものの気配を感じるようになります。

皆さんはBee Hotel もしくは、Insect Hotel をご存じでしょうか。Bee Hotel を直訳するとハチ（ハナバチ）のホテルといったところかなと。その名のとおり、宿泊客は人間ではなく主にハチです。お客となるハチはミツバチやスズメバチなど、群れで社会生活を営むハチの仲間ではなく、管住性（かんじゅうせい）ハチ類と呼ばれる単独で生活をするあまり目立たないハチの仲間です。ハチということで、雌成虫は、もちろん刺すための針は持っています。ですが、スズメバチのように攻撃性や毒性が強い訳ではありません。積極的に捕まえようともしない限り、まず刺される心配のないハチとのこと。

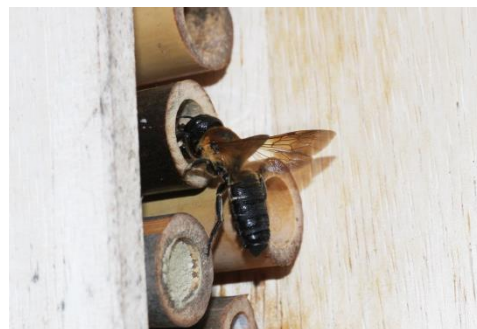
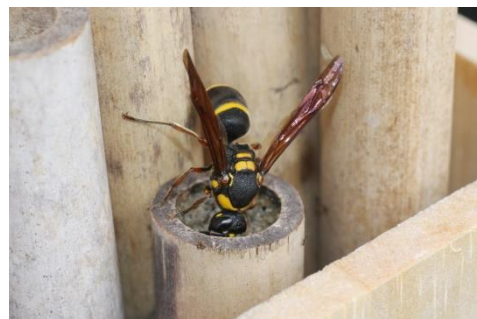
この管住性ハチ類は、竹やアシのような中空の筒や、カミキリムシ等のコウチュウ類によって材に開けられた脱出坑等の空間に巣を造るそうです。親バチは巣の中に餌を蓄えて産卵し、孵化した幼虫はその餌を食べて育ちます。管住性ハチ類は、様々な昆虫やクモを狩るカリバチ類と、花粉や花蜜を集めるハナバチ類とに大きく分けられるようです。

自宅のBee Hotel の話に戻りますが、主に竹やヨシを適度な長さに切断した物を組み合わせて作成しています。（海外などでは、人の家に見立てたようなこだわりの物もあり、見た目もお洒落で楽しいです。）今年はまず4月に、シロオビツツハナバチが3本の筒に巣を造り、その後、昨年巣造りをしていたオオフタオビドロバチ・オオハキリバチ・ナミカバフドロバチが6月になって羽化し始めました。そして、現在はオオハキリバチ・ナミカバフドロバチが新たに巣造りを始めています。

自宅の狭いベランダですが、春から秋にかけて、何かしらのハチがBee Hotel に訪れているようです。ハチの邪魔にならないように（洗濯物を干す時も、ハチの邪魔にならないように干す場所に気を使います・・・）Bee Hotel を観察していると、羽化して飛び立つ様子や、巣造りや夜間に巣内で就寝？している様子等が見ることができ、日々の楽しみでもあります。ベランダにBee Hotel を設置した事で、虫の羽音がするとついついベランダに出てしまう今日この頃です。

糸島市在住

写真:左)ヨーロッパの博物館の Bee Hotel 中)自宅の Bee Hotel 右)巣造り中のオオフタオビドロバチとオオハキリバチ



ちょっとお知らせ

ふくおか環境連絡交流会「生きもの好きの子どもの居場所」8/28(日)14時 ~ 16時

1.会場参加 まもるーむ福岡(福岡市中央区地行浜) 先着 30名

2.オンライン参加 NPOグリーンシティ福岡ホームページ 先着 30名

ゲスト:「やながわ有明海水族館」高校生館長 亀井裕介

問い合わせ先: NPOグリーンシティ福岡/担当 伊東 電話とFax 092-215-3913



会員からの投稿(2) 渋田和美

暑すぎて観察のできない日々

梅雨があつという間に明けたため、毎年楽しみにしているネムの花を見損ないがっかりしていました

ところが先日お仕事で歩いていると、道端に一本のネムノキが！花が何とか咲いています

嬉しかったです

今年は諦めていただけに幸せになりました



会員からの投稿(3)



窓越しの自然観察 49 ～ 一期一会 23 ～

7月10日、蝉の初鳴きはワシワシワシ。同月14日には夜明け前の薄暗い中、カナカナカナ。その後は、一度カナカナを耳にしたのみで専らワシワシの声ばかり、気温上昇に伴ってワシワシ狂想曲は日々激しさを増しています。何故ミンミンは聴こえないのでしょうか？油蝉は？と思っていたところ、庭でけたたましい羽音。見ると、油蝉が必死にもがいています。

どうやら、カマキリに捕まってしまった様です。しばらく攻防が続いていましたが、静かになった所を見ると、セミは、無事危機を脱したのでしょう。逃げていくのを見届けることは出来ませんでした。

ツクツクホウシを早く聴きたい気分。

(ダムサイト住人 2022/8/3 記)

春日公園自然観察会 令和4年07月16日(土)【参加者数】10人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。また、小学生1名、就学前の幼児1名を含む親子2組を中心に散策しました。

観察内容 子ども達の目線で気になる生きものを主に観察しました。

植物 ネジバナの種、ハリエンジュ、ヒナギキョウ、アカメガシワ、サンシュ(実)、サンゴジュ(実) ササの葉の舟、

昆虫 シオカラトンボ、マユタテアカネ、アメンボの仲間、ベニトンボ(3)、



観察会を開始する風景

アブラゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、アオカナブン、ベニシジミ、
野鳥 メジロ、キジバト、スズメ、ハクセキレイ、シジュウカラ、カワラヒワ、コゲラ、ムクドリ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、
その他の生きもの ジャンボタニシ(スクミリングガイ)とその卵塊、ダイダイゴケの仲間(地衣類) カタツムリの食べ痕

感想(参加者の声)

- ・ネジバナの種を拡大鏡で観察できた。
- ・マユタテアカネの正面顔をじっくり観察できた。
- ・アメンボの脚の数を確認した。
- ・泳ぐジャンボタニシ、その卵塊を観察できた。
- ・子どもさんの参加で楽しい観察会でした。
- ・赤いトンボ(ベニトンボ)を観察した。
- ・コンクリートの面に付いた橙色を、拡大鏡で観察し、生きものとわかった。
- ・秋に熟すサンゴジュの実が楽しみだ。



ネジバナの種(画面中央の緑色が種が入っていた)

